



証券コード: 1447



# ITbookホールディングス株式会社

## 2023年3月期第2Q 決算説明会

<b>1. 2023年3月期第2Q 決算内容 連結</b>	<b>… 2</b>
<b>2. 2023年3月期第2Q 決算内容 セグメント別</b>	<b>… 6</b>
<b>3. 中期経営計画</b>	<b>… 12</b>
<b>4. Topics</b>	<b>… 16</b>



# 1. 2023年3月期第2Q 決算内容 連結

# (1)2023年3月期 第2Q 決算内容 (連結損益計算書)

(単位:百万円)

	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2023/3	対前年比	
	実績	実績	実績	予想	増減額	増減率
売上高	10,319	11,812	14,322	28,500	2,509	+21.2%
売上総利益	2,478	2,891	3,382	-	491	+17.0%
販管費及び 一般管理費	3,231	3,366	3,713	-	347	+10.3%
営業損益	△753	△474	△331	650	143	
経常損益	△719	△495	△261	590	234	
親会社株主に 帰属する 当期純損益	△793	△563	△608	370	△45	

## ✓売上高

### ①地盤調査改良事業:

- ・営業エリア拡大や主力工法の拡販、
- ・不動産事業強化(三愛ホーム取得)
- ・地盤関連サービス強化(東名取得)により大幅増(増額1,996百万円 30.6%増)

### ②人材事業:

- NEXT(技術者派遣)、アイニード(製造業・流通業)、イスト(教員向け)各社好調に推移(増額487百万円 17.9%増)

## ✓営業損失

### 人材事業:

- ・NEXT(技術者派遣) 営業方針見直しにより黒字化達成、
- ・イスト(教員向け)好調(増減額131百万円 382.1%増)

## ✓四半期純損失

前期2022/3 2Q に計上したアパレル事業の売却に伴う関係会社株式売却益(特別利益)366百万円の影響を除くと着実に四半期純損失についても改善の見込

## (2) 2023年3月期 第2Q 決算内容 (連結貸借対照表)

✓純資産について四半期純損失(△608百万円)の計上あるものの第三者割当増資による資本増強(642百万円)により影響は軽微

➡ 第4四半期におけるのコンサルティング事業の利益計上等で予定利益額を見込む (単位:百万円)

	2022/3	2023/3 2Q	増減額	主な要因
流動資産	13,093	13,367	273	現金及び預金741、受取手形、売掛金及び契約資産△921 仕掛品279、販売用不動産170
固定資産	5,118	5,182	64	有形固定資産272 無形固定資産△94 投資その他資産△114
繰延資産	15	13	△2	
資産合計	18,228	18,563	334	
流動負債	11,792	12,132	339	支払手形及び買掛金197、短期借入金64、 1年内返済予定の長期借入金60、未払法人税等△114
固定負債	4,007	3,878	△129	長期借入金△273
負債合計	15,800	16,010	210	
純資産合計	2,427	2,552	124	資本金377 資本剰余金377 利益剰余金△551(親会社株主に帰属する四半期純損失△608)
負債・純資産合計	18,228	18,563	334	
有利子負債	11,206	11,179		
ネットD/Eレシオ	2.90	2.33		
自己資本	2,057	2,214		
自己資本比率	11.3	11.9		

### (3) 2023年3月期 第2Q 決算内容 (連結キャッシュフロー)

- ✓ 売上債権の減少(前期比)、仕入債務の減少(前期比)等により営業CF前期比減少
- ✓ 有形固定資産の取得等により投資CF増加
- ✓ 第三者割当増資による新株発行により財務CF増加

(単位：百万円)

	2022/3 2Q	2023/3 2Q	増減額
営業CF	1,145	659	△485
投資CF	△355	△551	△196
財務CF	△764	607	1,372
現金同等物 期首残高	3,536	5,235	1,698
現金同等物 期末残高	3,576	5,998	2,421



## 2. 2023年3月期第2Q 決算内容 セグメント別

# (1) 2023年3月期第2Q 決算内容 セグメント別サマリー

単位:百万円		2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	増減額	概要
コンサルティング	売上	243	196	216	19	✓官公庁向けコンサルティングの売上が第4Qに偏重 費用先行によりセグメント損失を計上
	セグメント損益	△304	△ 218	△ 178	40	
システム開発	売上	1,275	1,472	1,569	96	✓システム開発の需要は高く、売上は増加 ✓前期の人材増強等が今期の利益にも影響(ITbookテクノロジー)
	セグメント損益	△49	△ 45	△ 73	△ 27	
人材	売上	2,264	2,725	3,213	487	✓人材需要は高く、売上・利益ともに好調
	セグメント損益	△4	34	165	131	
地盤調査改良	売上	5,600	6,518	8,515	1,996	✓原材料の高騰の影響等により利益は前期比減少(地盤改良) ✓不動産事業・鉄道関連土木工事事業 好調
	セグメント損益	△4	250	237	△ 13	
保証検査	売上	154	148	147	—	✓住宅着工戸数の減少(前期比)により保証事業売上減 ✓検査事業の事業規模の縮小を予定
	セグメント損益	5	33	△ 11	△ 45	
建設テック	売上	181	226	239	13	✓事業規模拡大によるSE人材の獲得等により販管費増加
	セグメント損益	6	9	△ 11	△ 20	
海外	売上	179	225	234	9	✓ベトナム国内での工事案件は安定的に受注 ✓原材料の高騰や円安による日本向けBPO事業の利益率低下が大きく影響
	セグメント損益	5	5	△ 9	△ 15	
その他	売上	30	97	186	89	✓2022年4月～10月で不採算事業の解散・譲渡を実行
	セグメント損益	△51	△ 148	△ 181	△ 32	



## ・行政向けコンサルティング

- 自治体DX推進
- 自治体システム標準化
- ガバメントクラウドの移行

## 官民連携デジタル化ソリューション

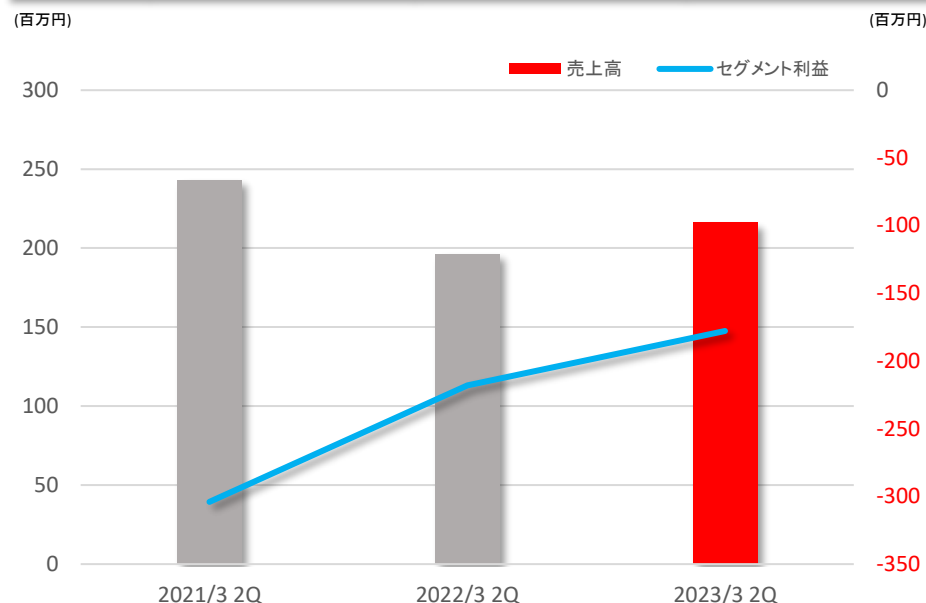
## ・民間向けコンサルティング

- 「Smart Tool」レガシー分析サービスの販売促進
- 「COBOL」→「Java」へのコンバートツールの提案

セグメント売上高 前期比 **10.1%増**

セグメント損益 対前期増額 **40百万円**

コンサルティング事業			
単位:百万円	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q
売上高	243	196	216
セグメント損益	△304	△218	△178



## 今後の見通し

- ・既存顧客、既存案件のリテンション強化による、既存売上の維持
- ・政府のデジタル化推進により発生する案件、それらの対応が自治体に及ぶ政策案件の獲得
- ・「Smart Tool」を活用した、システム可視化サービス拡大(民間向けコンサルティング)
- ・「COBOL」から「Java」へのコンバートツールの拡販



## 東京アプリケーションシステム(株)

売上高 前期比 **1.0%増**

営業利益 前期比 **57.9%減**

中期的なニアショア事業/ラボ事業強化に向け採用活動実施

## ITbookテクノロジー ITbookテクノロジー(株)

- ・売上拡大のための外注費等増加(売上原価)
- ・事業拡大計画に伴う人材採用費等(販管費増)

売上高 前期比 **14.5%増**

営業損失 対前期増減額 **16百万円増**

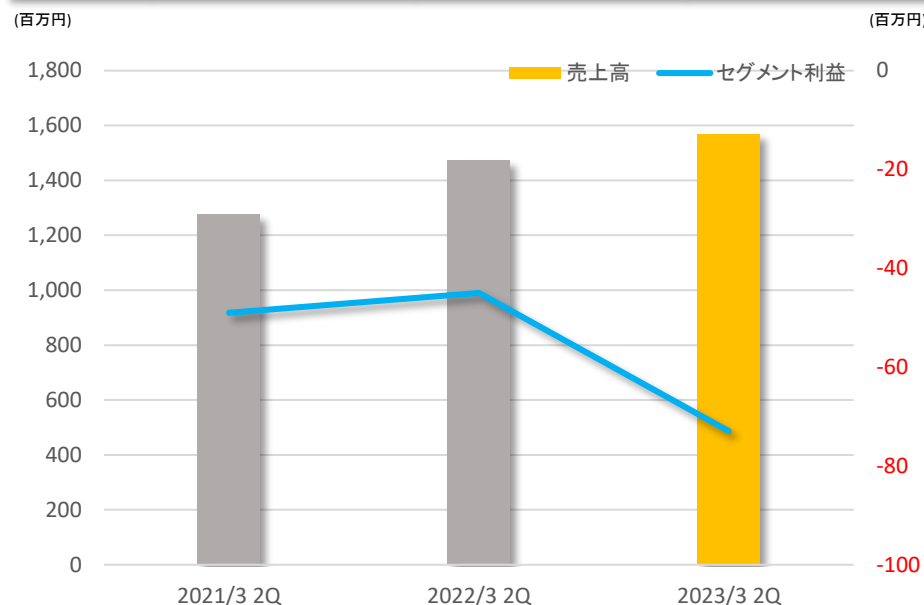
セグメント売上高 前期比 **6.6%増**

セグメント損益 対前期増減額 **△27百万円**

## 今後の見通し

- ・ニアショア事業 / ラボ、SES事業の拡大(人員の増強を計画)
- ・人員の確保・売上高増を目指しつつ、生産性効率を意識し利益面を確保する
- ・新規取引先開拓、既存取引先深耕
- ・IoTサービス(みまわり伝書鳩、温調みつばち、など)の海外展開を目指す

システム開発事業			
単位:百万円	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q
売上高	1,275	1,472	1,569
セグメント損益	△49	△45	△73





・製造業、流通業向け人材派遣 アイニード  
 売上高 前期比 **17.4%増**  
 営業利益 前期比 **43.5%減**



・技術者派遣 NEXT  
 売上高 前期比 **10.3%増**  
 営業利益 対前期増減額 **77百万円増**



・教育人材派遣 イスト  
 売上高 前期比 **46.2%増**  
 営業利益 前期比 **114.2%増**

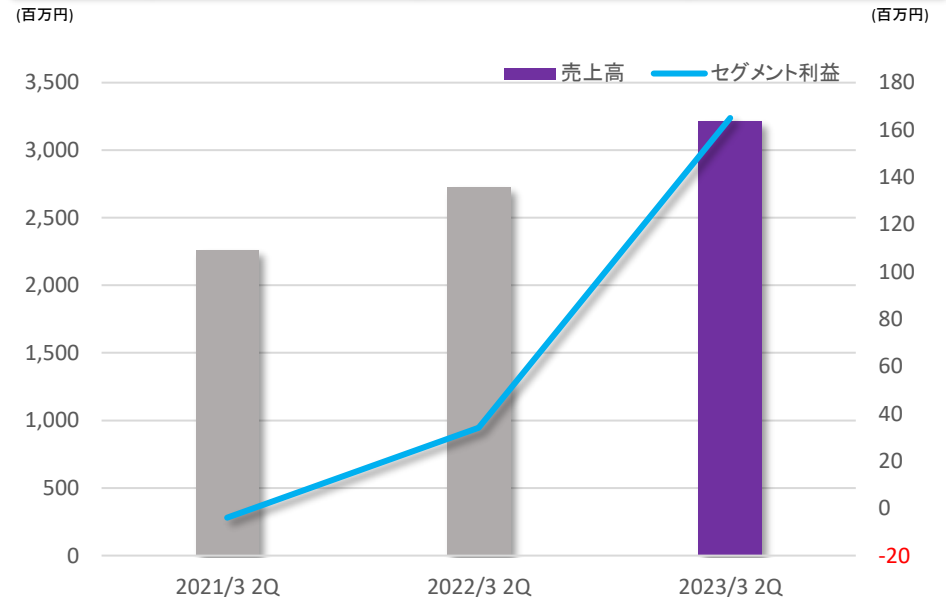
アイニード、イストはコロナ禍の影響が薄れ売上高、営業利益共に好調  
 技術者派遣 NEXT: 営業方針の抜本的な見直しにより黒字化達成

セグメント売上高 前期比 **17.9%増**  
 セグメント損益 前期比 **382.1%増**

## 今後の見通し

- ・製造業、流通業向け、教育人材派遣の強化継続
- ・管理体制の強化・コストカット強化(派遣人員募集の専門部隊・データベース、システム導入による業務効率化等)
- ・新拠点の展開や拠点強化による事業規模の拡大(イスト:福岡or愛知への出店、アイニード:熊本強化、茨城への出店)
- ・配送、介護関連などの新分野へアプローチ開始
- ・売上重視から利益重視の経営へ抜本的に営業方針転換(NEXT)

人材事業			
単位:百万円	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q
売上高	2,264	2,725	3,213
セグメント損益	△4	34	165



## ✓サムシング SOME THING

・高品質のSFP工法と 環境配慮型工法のエコジオ工法等を拡販

➢柱状改良工法からSFP工法への切替え

売上は前期比 **10.5%増** 件数**3.2%増**

・大型工事へのシフト(コラムZ工法)

売上は前期比 **18.3%増** 件数**2.3%増**

・売上高は増加するも原材料高の影響を受け利益率低下

## ✓三愛ホーム SAN-AI HOME (2021年7月株式取得)

➢不動産事業強化 埼玉県を中心に事業展開

## ✓東名 (2022年2月株式取得)

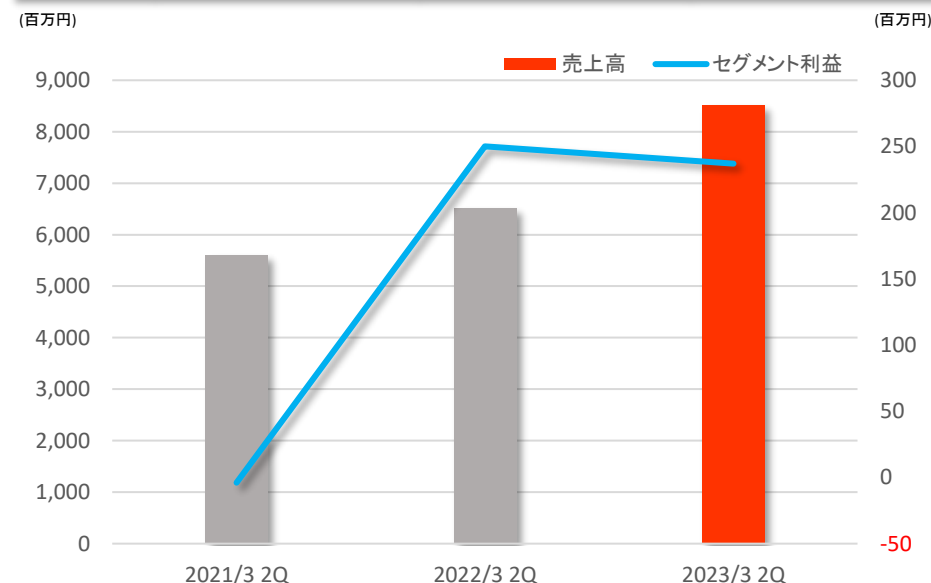
➢地盤調査関連サービス強化 鉄道関連土木工事中心

セグメント売上高 前期比 **30.6%増**

セグメント損益 前期比 **5.2%減**

### 地盤調査改良事業

単位:百万円	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q
売上高	5,600	6,518	8,515
セグメント損益	△4	250	237



## 今後の見通し

- ・従来の柱状改良工法による地盤改良工事を、高品質のSFP工法、エコジオ工法への切り替えを全国的に推進する
- ・大型案件(コラムZ工法による)施工実績の増加および、大型工事対応の設備投資を実施
- ・国内新規出店による更なる国内シェア拡大を目指す(南九州エリア)
- ・アースプライム・東名(株式取得による子会社化)とのシナジー効果の発揮
- ・不動産事業(GIR社):社宅代行サービス、不動産仲介を強化(三愛ホーム株式取得による子会社化)

## 3. 中期経営計画



- 第2Q時点で通期業績予想の変更なし
- 不採算事業の解散・譲渡により利益率の改善を見込む
- コア事業を中心とした事業展開

2022年5月16日公表「中期経営計画の変更のお知らせ」による経営課題を着実に実行中

### 1. コア事業への投資

✓ 2022年8月 第三者割当増資により資金調達を実施

※2022年8月15日「第三者割当による新株式の発行及び新株予約権の発行に関するお知らせ」



コア事業※の強化により安定的な収益獲得を目指す

※コア事業: コンサルティング事業、システム開発事業、人材事業、地盤調査改良事業

### 2. 財務基盤安定化と利益を拡大させるためのグループ体制構築

✓ 不採算事業、長期投資事業等の解散・譲渡を確実に実行

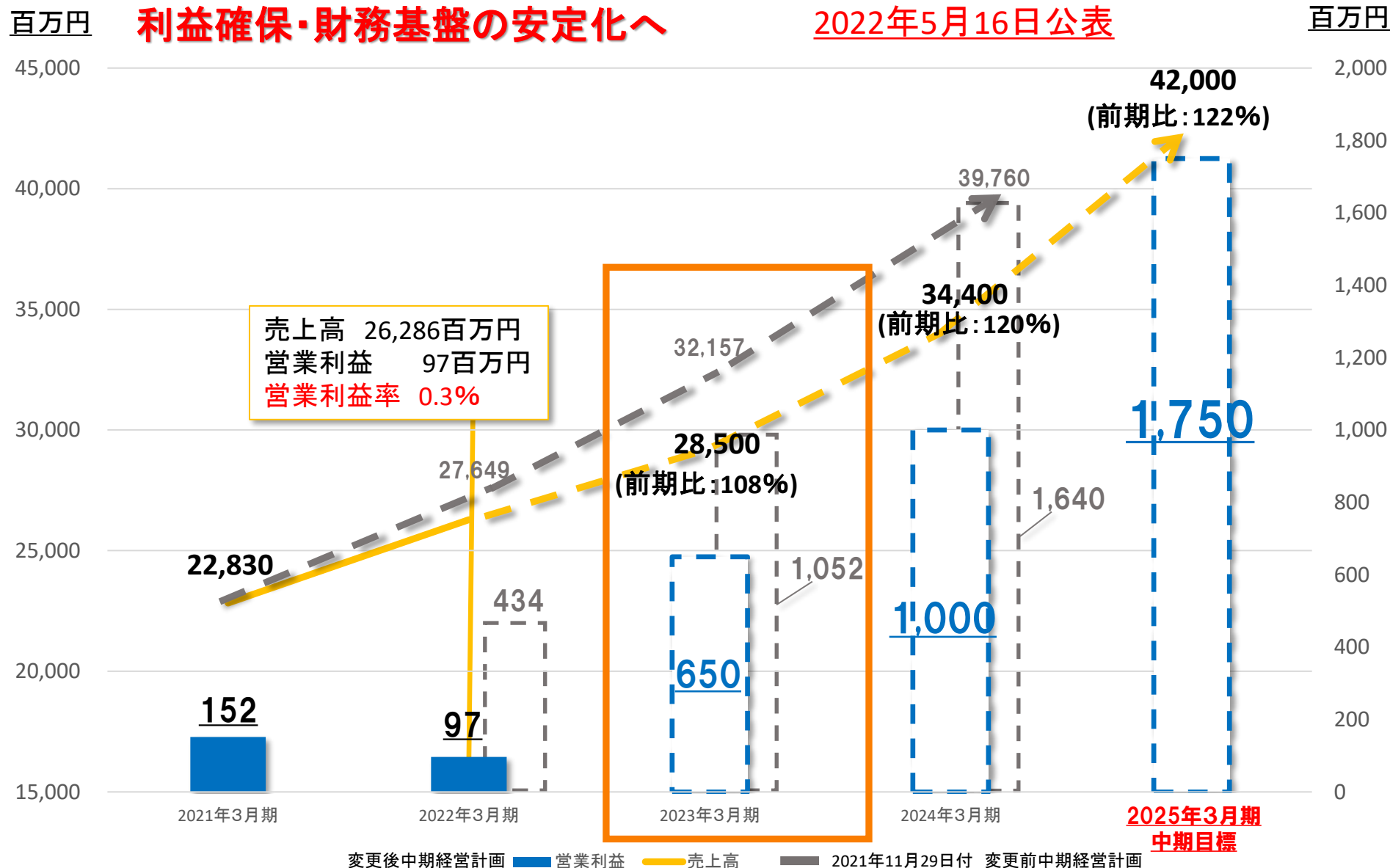
解散済法人(7社): ZOX、東北ITbook、ITbookフリーワーク、ITグローバル、SIZ、ITbookHL、ITbookキャピタル

株式譲渡法人(6社): 三鈴、Movy、ITbookXcloud、W&I、GDS、A&Iアウトソーシング、



- ・ 中期的な利益率向上と資本効率改善を着実に実行
- ・ 投融資委員会による投資実効性の確認とモニタリングの強化をはかる

### (3) 中期経営計画 経営目標の着実な実行





## 4. Topics

## デジタル庁による 地方公共団体情報システム調査案件の受託



※2022年8月30日 プレスリリース

2021年9月1日施行  
「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」により  
標準準拠システムの利用が義務化



デジタル庁の「地方公共団体の基幹業務システムの統一  
・標準化に向けた環境整備の促進等に関する調査研究」を受託

- ✓ 人が容易に理解しやすいように分析可視化する当社開発  
「Smart Tool」によるプログラム分析サービスの活用

## 内閣官房主催の「夏のDigi田甲子園」において 開発協力した群馬県嬭恋村が内閣総理大臣賞優勝を受賞

**Front applications inc.**

※2022年9月7日 プレスリリース

実装部門町村の部において、  
群馬県嬭恋村の**内閣総理大臣賞**  
受賞をサポート

群馬県嬭恋村は、都OS(FIWARE)を活用することで観光スマートシティを実現し、  
「嬭恋ブランド」の強化と観光活性化に成功



## M&A MAX社（M&A 仲介事業） の拡大に向け業務提携を締結



※2022年9月5日 プレスリリース



- ✓ 業界に特化したM&A(保育介護事業及び食品・製造・半導体業界等)
- ✓ 事業継承等の社会問題の解決

【業務提携の内容】

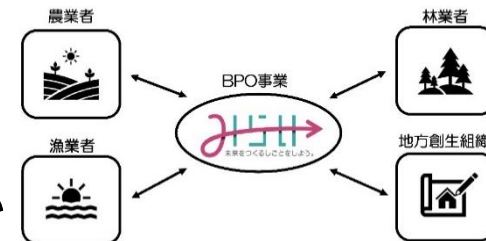
1. M&A業務を推進する上での協力体制の構築・維持
2. 顧客が同意の上でのM&A案件に関するニーズ・情報の共有
3. 相手方がフィナンシャル・アドバイザーを務める案件についての候補先の紹介

## 第一次産業者・地方創生組織向けオーダーメイド& インタラクティブ型BPOサービス『recopit』をリリース

※2022年11月1日 プレスリリース



- ・業界特性から既存のBPO  
サービスの一部しか活用できない
- ・業務が煩雑で多岐にわたり、  
季節性も強いため定型化が難しい



オーダーメイド & インタラクティブな  
BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)の提案と実行

# ご清聴ありがとうございました。

## IR担当窓口

### 免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。従いまして、将来の事業戦略・業績見通しに関する情報に全面的に依拠して、投資判断を決定することは避けるようお願いします。

ITbookホールディングス株式会社  
管理本部  
TEL: 03-6770-9970  
Mail: ir@itbook-hd.co.jp

ICT技術・DXにより社会インフラの効率的、  
効果的付加価値の向上及び、社会貢献を目指す。

